

ガンジスの神々とメコンの精霊

～北インド音楽と北タイ音楽のタバ～

入場無料・予約不要

2018年5月17日(木) 18:00～19:30 / ぶんきょうサテキャン宇治橋通り

【出演者】 gumi、中尾幸介、ティティポン・カンティーウォン、馬場雄司

【バンスリー(インドの横笛)：gumi 氏】



2006年より毎年渡印し、インド古典音楽やバンスリー(横笛)をはじめ。2008年より Carlos Guerra 氏、2012年より Pt.Ajay Prasanna 氏を師事。バンスリーのみならず、声楽家やシタール奏者にも師事し、様々なスタイルの古典音楽からバンスリーを学ぶことにより、幅の広い演奏を研究している。

2013年『When it Blooms』を初のリーダーアルバムとして発売。2015年ピアニスト岸本良平氏とデュオ作となる『Just So...』を発売。2017年世界的ピアニスト Arico との共演と CD リリース。2017年初の北インド古典音楽としての即興作品『LEELA』を gumi&tiko* より CD リリース。貴船神社、西念寺、西方寺などの神社仏閣での奉納演奏多数開催。Namaste!Group 主宰、キールタンイベント・Heart Gathering*** 主宰。

【タブラ(インドの太鼓)：中尾幸介氏】



2007年よりコルカタにて、タブラ奏者ビプロップ・バッタチャリヤ氏から学び始める。日本とインドを行き来しながらインド古典音楽をはじめ様々なジャンルのアーティストとの共演を重ねる。

2016年パーカッションデュオ paon を結成し、2枚の CD 「rickshaw」、「Pedogenesis」をリリース。関西を拠点に国内外で積極的に活動中。



【ゲスト：ティティポン・カンティーウォン氏】

北タイ音楽の研究及び北タイ音楽活動を行う。特に弓奏弦楽器サロー演奏家として知られる。海外での公演多数。北タイ音楽の楽団チャンサトーンを主宰し、インドやアラブの打楽器、チェロなど西洋楽器など様々な楽器とのコラボレーションによる新しい音楽の創造も試みている。チェンマイ大学芸術学部講師、現在、来日し、総合研究大学院大学博士課程に在籍、国立民族学博物館で研究を行っている。



【案内人：馬場雄司】

京都文教大学総合社会学部教授。タイを中心とした東南アジアの音楽調査を手がけ、自然素材の民族楽器の医療・福祉分野での可能性も研究。ティティポン・カンティーウォン氏らと北タイ音楽ユニット「ドゥリニャ・ランナー」を結成し、サテライト・キャンパスの他、関西地区で演奏活動を行っている。

○ 会場住所および問い合わせ先

ぶんきょうサテキャン宇治橋通り

○ 住所：京都府宇治市宇治壺番 3、TEL：0774-23-3171

(JR 宇治駅徒歩 3分、宇治橋通り商店街サイト写真館となり)

○ お問い合わせ先：京都文教大学フィールドリサーチオフィス
(TEL：0774-25-2630、e-mail：fro@po.kbu.ac.jp)

○ 会場アクセス

